

## [モッキンバードファミリーモデル成果報告書：2010年] (概要より抜粋)

<モッキンバードファミリーモデル評価に関する基本項目>

目標	モッキンバードファミリーモデルの成果
安全	1. 子どもの安全
パーマネンシー	2. パーマネンシーへの支援
子どもの福祉	3. 措置の安定性 4. きょうだい関係の維持 5. 文化的アイデンティティへの配慮 6. 強力なコミュニティのつながり
養育者への支援	7. 養育者の満足と継続
児童福祉システムの変化	8. システムの変化

2009年のデータに含まれているのは、モッキンバードファミリーモデルのWEBに基づいたデータシステムを利用した9つのコンステレーション。(全コンステレーションは15)

<評価の対象とされたコンステレーションの数>

モッキンバードファミリーモデルのデータに含まれるコンステレーション	2009年	全コンステレーション内の割合
コンステレーションの数	9	60%
全家族数	77	70%
全子ども数	146	73%

<8つの成果>

### 1. 子どもの安全

2009年には、モッキンバードファミリーモデルに参加する家族に対して虐待通告がなされた例は一件もなかった。(安全性=MFM：100% 全国平均：99.68% ワシントン州平均：99.62%[2008]) 合計13,733時間のレスパイトが行われた。

### 2. パーマネンシーへの支援

委託されている子どものうち30名については、パーマネンシーが達成された。90%はパーマネンシーホームへの移行、10%は実親家族への再統合がなされた。(州レベルでは75%) 2008年と2009年比較すると、実親家族への再統合は2%から10%へと上昇した。また、12%の子どもは、ハブホームの里親の援助の下、実親家族との面会が実現した。

### 3. 措置の安定性

2009年には、コンステレーションの子どものうち83%が、パーマネンシーを除く措置変更を経験しなかった。コンステレーションの子どものうち2名(1%)だけが家出をしていた。

### 4. きょうだい関係の維持

54名(37%)の子どもは同じコンステレーション内にきょうだいがいた。そのうち、94%は同じ家に住んでいた。6%は同じコンステレーション内の別の家庭にきょうだいが住んでいた。

### 5. 文化的アイデンティティへの配慮

人口比では、有色人種の子どものは白人よりも多く、社会的養護を受けている。こうした子どもの養護における自文化への配慮は重要な課題である。コンステレーション内の子どものうち85名(85%)は、自文化や他の文化について学ぶのに助けとなるような活動から恩恵を受けていた。コンステレーションの子どものうち106名(73%)は、少なくともひとりの養育者と文化的アイデンティティを共有していた。(コンステレーション内での活動とは、ネイティブ・アメリカンの行事、ノースウエストアフリカンアメリカン美術館でのアートプロジェクト、ラテンアメリカの文化の「フィエスタ・パトリアス」への参加、LGBTQの若者への支援のトレーニングなど)

### 6. 強いコミュニティのつながりの構築

子どもの社会的、情緒的発達にとって、長期的で継続的な関係づくりは重要である。コンステレーション内の子どものうち113名(91%)はハブホームの主催する活動に参加していた。9つのコンステレーションでは、年間67回(平均すると1つのコンステレーションにつき、月3回)の活動が行われていた。(コンステレーション内での活動とは、バーベキュー、ピザパーティー、ローラースケート、旅行、美術館、動物園、水族館など。)

### 7. 養育の満足と継続

2009年には、モッキンバードファミリーモデル内で里親を辞める養育者の割合がたったの12%であった。ワシントン州全体では約30%、全米では訳30~50%が毎年、里親を辞めているため、12%という割合は非常に低い。

### 8. システムの変化

8番目の成果は、ある意味では上記の7つの成果の集大成である。このモデルを実践することで、ホストエージェンシーは、より多くの機関やそのコミュニティと連携するようにな

り、子どもと養育者に関する成果が見られ、里親養育の質が向上した。2009年にはモッキンバードファミリーモデルに参加する子どもと養育者の数が50%、コンステレーションの数が40%増加した。

<評価の対象とされた9つのコンステレーションの基本情報>

人種	子ども数	データに含まれるコンステレーション内の割合
アフリカ系アメリカ人	45	31%
アジア系アメリカ人	3	2%
ネイティブアメリカン	6	4%
白人	39	27%
バイレイシャル	18	12%
マルチレイシャル	14	10%
その他	21	14%

エスニシティ	子ども数	割合
ヒスパニック・ラテン	32	22%
非ヒスパニック・ラテン	107	73%
不明	7	5%

年齢	子ども数	割合
0～5歳	34	23%
6～10歳	33	23%
11～15歳	41	28%
16～20歳	34	23%
21～25歳	3	2%
不明	1	1%
合計	146	100%

<モッキンバードファミリーモデル実施に関する基本情報>

すべてのコンステレーション	2006	2007	2008	2009
コンステレーション	4	5	11	15
対象家族数	22	27	69	110
対象子ども数	44	72	115	200

年齢	2-18	9ヶ月-19	生後-21	生後-22
----	------	--------	-------	-------

※ 2006年、2007年のデータは、一部地域のデータが含まれていない。

2009年 全コンステレーション		
人種	子どもの数	割合
アフリカ系アメリカ人	95	18%
アジア系アメリカ人	4	2%
ネイティブアメリカン	6	3%
白人	39	20%
バイレイシヤル	18	9%
マルチレイシヤル	14	7%
不明	7	4%
エスニシティ	子どもの数	割合
ヒスパニック・ラテン	35	18%
非ヒスパニック・ラテン	158	79%
その他	21	11%
不明	3	2%